

交通安全かわら版

令和 2 年 7 月
茨城県警察本部交通総務課
NO. 36

～ 夏の交通事故防止県民運動の実施 ～

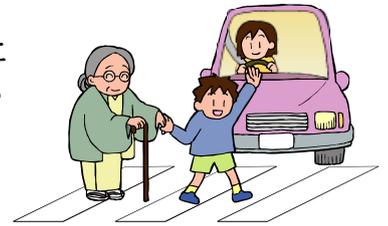
夏の交通事故防止県民運動

期 間 令和2年7月20日(月)～7月31日(金)

スローガン 気をつけて 子供に自転車 お年寄り

運動の重点 (1) 歩行者(特に子供と高齢者)の保護

- 横断歩道は歩行者優先、横断歩道の手前では減速し、歩行者がいる場合は一時停止するなど、歩行者の保護を意識した運転をしましょう。
- 子供や高齢者のそばを通る場合は、急な横断などに備え、十分にスピードを落とし、安全な間隔をあけるなど、思いやりのある運転を心がけましょう。
- 夕方はライトを早めに点灯し、先行車や対向車がない時は、ライトを上向きに切り替えましょう。
- 歩行者が道路を横断する時は、必ず止まって左右の安全を確認しましょう。



運動の重点 (2) 飲酒運転・スピード違反・過労運転等の防止

- 飲酒運転、スピードの出し過ぎ、過労運転等の危険運転は重大事故に直結します。
交通ルールを守り、安全運転を心がけましょう。
- 疲労が蓄積した状態での運転は、注意力散漫を招き、事故の危険性が高まります。
ハンドルを握ったら運転に集中し、こまめに休憩をとりましょう。



運動の重点 (3) 自転車の安全利用の推進

- 「**自転車安全利用五則**」を守りましょう。
- 自転車運転中、スマートフォン等での通話や操作は禁止です。
- 自転車で道路横断や、進路変更する時は、必ず前後左右の安全を確かめましょう。
- 相手にケガをさせた場合等に備え、自転車保険に加入しましょう。
自転車と歩行者が衝突した交通事故で、1億円近い賠償を命じられた判決もあります。



自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
 - ・ 飲酒運転、二人乗り、並進の禁止
 - ・ 夜間はライトを点灯
 - ・ 交差点での信号遵守と一時停止、安全確認
- 5 子供はヘルメットを着用

10,000 10,000 10,000
高額な賠償額

夏は暑さに加え、行楽等の疲労が原因となる交通事故の多発が懸念されます。県民の皆さん一人ひとりが、交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことが、交通事故防止につながります。悲惨な交通事故を1件でも減らすために、ご協力をお願いします。